取り組み

2026年4月9日

＼大学院基礎工学研究科に「デンソー　コモンズ」ができました！／

# 株式会社デンソーとネーミングライツ協定を締結

## ❖ 概要

国立大学法人大阪大学（所在：大阪府吹田市、総長：熊ノ郷　淳、以下「大阪大学」）と株式会社デンソー（本社：愛知県刈谷市、代表取締役社長：林　新之助、以下「デンソー」）は、大学施設のネーミングライツ（命名権）取得に関する「ネーミングライツに関する協定書」（以下「協定」）を 2026年2月25日に締結しました。

このたび、豊中キャンパス大学院基礎工学研究科 G 棟講義室（G508、G509、G516）及び談話コーナーのネーミングライツ公募にデンソーが応募し、選定委員会による審査を経て、ネーミングライツ・パートナーに選ばれました。2026年 4 月から 2029 年 3 月まで、同施設の愛称は「デンソー　コモンズ（DENSO Commons）」となります。大阪大学における学内施設のネーミングライツとしては 10 件目です。

## ❖ ネーミングライツ導入の背景

大阪大学は、ネーミングライツ制度を 2018 年 8 月から導入しています。学内施設に企業名等を「愛称」として付与し、そのサインを設置いただく代わりに対価としてネーミングライツ料を得るこの制度は、大学の将来にわたる新たな財源を確保し、教育研究環境の向上と施設の有効活用を目的としています。企業にとっても、学生に企業名や企業の事業に関心を高めてもらう契機となることから、大学でのネーミングライツ取得は近年増加しています。









本施設にて

（左から）髙川 直子様（株式会社デンソー人事部 室長）、中岡 周平様（株式会社デンソー人事部長）、関山 明 大阪大学大学院基礎工学研究科長、 馬越 大 同副研究科長、

**「デンソー コモンズ（DENSO Commons）」となった基礎工学研究科 G 棟について**

基礎工学研究科 G 棟は、講義室や研究室などを備えた 5 階建ての教育研究棟です。このたびネーミングライツ協定を締結する 5 階フロアは、最先端の IT・データサイエンス教育を推進する「高度情報教育プログラム」の発信拠点として整備されており、講義室には、オンラインと対面を組み合わせた授業を可能にするハイフレックス設備や全席に電源が完備され、学生に先進的な学習環境を提供しています。

また、フロアに設けられた談話コーナーは、授業後の活発な議論や、学生と教職員が気軽に集い交流できる創造的なスペースとして親しまれています。

デンソーは、先進的な自動車技術、システム、製品を提供するグローバルな自動車部品メーカーであり、産業用ロボットや QR コードの開発、農業等、幅広い分野でも事業を展開しています。「地球に、社会に、すべての人に、笑顔広がる未来を届けたい。」をスローガンに掲げ、より安全で環境にやさしいモビリティの未来の実現に取り組んでいます。

「デンソー コモンズ（DENSO Commons）」の開設は、大阪大学基礎工学部・基礎工学研究科の専門分野が各学科ともデンソーの求める専門分野と親和性が非常に高い領域であり、デンソーがネーミングライツ公募に応募、選定委員会による審査を経て、ネーミングライツ・パートナーに選ばれたことにより実現しました。今回の協定を機に、教育研究環境のより一層の充実に取り組むとともに、産学連携をさらに強化します。

❖ 施設概要

【場　所】 大阪大学大学院基礎工学研究科 G 棟5階 デンソー コモンズ（DENSO Commons）

【所在地】 大阪府豊中市待兼山町1-3